

2012年1月吉日

第98回アメリカ歯周病学会(AAP)共催日本歯周病学会(JSP)2012年大会(2012 AAP-JSP LA 大会)の
JSP/JACP ポスターセッション演題申し込み方法について

日本歯周病学会会誌 53 巻 4 号に「JSP ポスター賞」についての案内を掲載予定ですが、2012年9月29日(土)～10月2日(火)、ロスアンジェルスにて開催される2012 AAP-JSP LA 大会の General Poster Session (JSP/JACP ポスターセッション)への演題申し込み方法をお知らせいたします。

ポスター演題は、「一般演題」、「臨床演題」、「歯科衛生士演題」の3つのジャンルからなります。

次ページ以降のフォーマットに従い、英文、和文とも抄録を作成してください。

作成した抄録は、eメールの添付書類にて「JSP/JACP ポスターセッション演題申し込み」というタイトルで下記まで送信してください。

日本歯周病学会 2012 AAP-JSP LA 大会事務局 アカデミックスクエアにメール
(e-mail: aap-jsp@ac-square.co.jp).

締切は6月30日午後5時までとします。(3月30日より延長しました)

このJSP/JACP ポスターセッション演題抄録は、日本歯周病学会会誌54巻3号に掲載予定です。

まだ決定ではありませんが、2012年9月29日(土)にポスター掲示、9月30日(日)にポスターセッション、「JSP ポスター賞」のノミネートポスターの審査が行われる予定です。

「JSP ポスター賞」に関しましては、日本歯周病学会会誌53巻4号の案内を参考にしてください。

尚、JSP ポスターセッションは、AAP の Research Forum Poster Session のセッションとは別に運用します。当該セッションに参加される方は、AAP の HP から別にご登録ください。また、同じ内容のポスターを AAP および JSP ポスターセッションに同時登録はできませんので、ご注意ください。

多数のご応募お待ちしております。

筆頭演者日本歯周病学会会員番号 ()
日本臨床歯周病学会会員番号 ()

演題 (一般・臨床・歯科衛生士) 左記の 3 つの分野から選び○を付けてください.

英文TITLE (10words or less)

--

AUTHORS (FIRST NAME INITIAL LAST NAME)

--

INSTITUTIONS

--

ABSTRACT BODY (Times New Roman; Size 10, Single space, Within 250 words)

Background and objective:

Material and Methods:

Results:

Conclusion:

--

日本語抄録(MS 明朝 サイズ 10) (700 単語数以内)

【目的】

【材料および方法】

【結果および考察】

【結論】

【記載例】

筆頭演者氏名・日本歯周病学会会員番号(窪川恵太・163407)

演題(一般・臨床・歯科衛生士)左記の3つの分野から選び○を付けてください。

英文抄録

TITLE (10 words or less)

Effect of atherosclerogenesis by SAA in ApoE efficient mice.

AUTHORS (First name, Last name)

Keita Kubokawa¹⁾, Eisaku Nishida¹⁾, Hiroyuki Kamijyou¹⁾, Akira Taguti²⁾, Nobuo Yoshinari¹⁾

INSTITUTIONS

¹⁾Department of Periodontology, School of Dentistry, Matsumoto Dental University

²⁾Department of Oral-Radiology School of Dentistry, Matsumoto Dental University

ABSTRACT BODY (Times New Roman; Size 10, Single space, Within 250 words)

Background and objective: Periodontitis is a local inflammatory disease, and it has been reported that this disease might affect the onset of atherosclerosis. We have reported that the injection of IL-6 to the periodontal tissue increased mRNA level in the liver and the protein level in the peripheral blood of serum amyloid A (SAA) in ddy mice before. SAA is an acute phase protein that affects for the systemic inflammation. Therefore, we tried to examine whether SAA could be a marker of atherosclerogenesis in homozygous ApoE deficient mice or not.

Materials and Methods: Forty homozygous ApoE deficient mice were used in this study. All animals were 8 weeks old at the baseline of this study. Recombinant mouse 10ng/ml IL-6 with 0.1% BSA in PBS were inserted three times to intraperitoneal injection. IL-6 and PBS groups were sacrificed at 1 day, 1 week, 4 weeks, and 8 weeks after the injection in 5 mice each. The en face quantification of atherosclerosis in the arteries was stained by Sudan IV and total aortic surface area and atherosclerotic lesion area were measured with a stereomicroscope with computer-assisted image analysis capabilities. And serum SAA level was measured by ELISA method at the collecting points of each artery.

Results: In IL-6 injected group, the area rate of an atherosclerosis was increased than that of PBS injected group from 1week. And serum SAA level in IL-6 injected group was higher than PBS injected group.

Conclusion: We suggest that SAA could cause the onset to an atherosclerosis in homozygous ApoE deficient mice.

【記載例】

日本語抄録 (MS 明朝 サイズ 10, 700 単語数以内)

【目的】

近年、歯周病がアテローム性動脈硬化症の発症に影響を与える可能性が報告されている。我々は、マウスの歯周組織に炎症性サイトカインである IL-6 を注入し、歯周病を想定し、局所の炎症を惹起させたところ、肝臓における血清アミロイド A (SAA) 遺伝子の発現上昇と末梢血における SAA タンパク濃度が上昇をすることを見出した。しかし、SAA を介する歯周病とアテローム性動脈硬化症との関連は詳細に確立していない。そこで今回、動脈硬化易形成性マウス (ApoE^{-/-}マウス) を使用し、IL-6 検出による SAA 産生増加がアテローム性動脈硬化症のマーカーになりうるかを検討した。

【材料および方法】

実験には生後 8 週齢の ApoE^{-/-}マウスを使用した。ApoE^{-/-}マウスを IL-6 投与群と PBS 投与群 (コントロール) の 2 群の分け、それぞれ腹腔内へ 3 日間連続投与した。1 日, 1 週, 4 週, 8 週経過後に、心臓から鼠頸部までの大動脈の摘出と末梢血の採取をそれぞれ 5 匹ずつ行った。大動脈は縦断試料を作成し、SudanIV 染色後、画像解析により脂肪沈着の定量化を行った。また、血清 SAA 濃度は ELISA 法により測定した。

【結果および考察】

PBS 群と比較して、IL-6 投与群の方が 1 週, 4 週, 8 週経過後の大動脈における脂肪沈着部面積の増加、および、1 日, 1 週, 4 週, 8 週経過後の血清 SAA 濃度の上昇を有意に認めた。

【結論】

SAA が ApoE^{-/-}マウスにおいてアテローム性動脈硬化症の発症に関与している可能性が示唆された。今後さらに多くの分析により、CRP と同様に SAA がアテローム性動脈硬化症のマーカーになりうるかを検討する予定である。